



916 6年 Aさん「汗見川」10月9日 ☆自主レポ

汗見川について書こうと思ったのは、弟と祖父ちゃんの家泊まりに行き、ウナギのしかけを見た帰りや、アユやコイをつりに行った帰りに、おもしろい石を見つけたからだ。祖父ちゃんが、その石について書いているカンバンを読んでくれて、興味をもった。

カンバン「汗見川は、吉野川の支流である。汗見川の石は、約1億年前の白亜紀の時代にできている。いろんな地層が重なり、上下の圧力で今は1つの層で約0.1mmほどになっている。」

祖父「約1億年前からあるって。」

私「へー！この石、すごいなあ。」

祖父の家は高知の坂本橋の近く。歩いて行けてよかった。自分の家に帰って調べると、世界的に注目されていたり、研究されているのに驚いた。数週間後、学校で先生に話した。

先生「それは変成岩と言います。」

私も調べたら、確かに変成岩だった。強い圧力で層ができている。石を学校に持って行った。先生に見せていたら、クラスの友達が見に来た。

B「何これ？」C「とがとるなあ。」D「どこで採ってきたん？」私「汗見川。」

★板が何十枚も重なったような石です。板状にはぐことができます。変成岩は、ものすごい力を長い長い間に受けて、このように変化したものです。四国は変成岩だらけですが、太平洋側から力がかかっているの、高知側の方が大きな変化をしています。



★ ウナギのしかけや、コイの釣り方もレポートにしてほしいな。